

# はじめよう経済学 小テスト

## 第9講 三面等価の原則

次の問いに答えなさい。ただし、【 】内に「計算過程」と書かれている場合は計算過程を記入しなさい。

1. 括弧内に入る適切な用語を書きなさい。

- ① ( )の原則とは、統計上、( )国民所得、( )国民所得、( )国民所得が常に等しくなることをいう。
- ② 支出国民所得は、消費、( )、( )、( ) [=輸出－輸入]、( )の和で表すことができる。
- ③ 国民所得は、「生み出す」を意味する英単語 ( )の頭文字「Y」で表す。  
消費は、英単語 ( )の頭文字「C」で表す。  
投資は、英単語 ( )の頭文字「I」で表す。  
政府支出は、政府の英単語 ( )の頭文字「G」で表す。  
純輸出は、「純」を意味する英単語 ( )の頭文字「N」と、輸出の英単語 ( )の頭文字「E」から「NE」と表す。  
また、輸入の英単語は ( )である。
- ④ 国民所得  $Y$  が1単位増加したときの消費  $C$  の増加分を ( )  $c$  といふ。また、 $C = cY + C_0$  を ( )型消費関数といい、 $C_0$  は ( )という。ちなみに、国民所得に占める消費の割合を ( )消費性向  $C/Y$  という。

2. 消費関数を  $C = 10 + 0.9Y$  とするとき、次の問いに答えなさい。

- (1)  $Y = 500$  のとき、消費  $C$  の値を求めなさい。

【計算過程】

$$C = \underline{\hspace{2cm}}$$

- (2) 基礎消費  $C_0$  の値を示しなさい。

$$C_0 = \underline{\hspace{2cm}}$$

- (3) 限界消費性向  $c$  の値を示しなさい。

$$c = \underline{\hspace{2cm}}$$

- (4)  $Y = 500$  のとき、平均消費性向  $\frac{C}{Y}$  の値を求めなさい。

【計算過程】

$$\frac{C}{Y} = \underline{\hspace{2cm}}$$